

観光分野毎のビジネス基準の各分野の評価について

(1) 持続可能な観光のビジネス基準取組の評価手法

国連CEDFACT観光部会説明資料
ST_プロジェクト検討会報告
2021年12月16日(木)

(参考)

「持続可能な観光のためのビジネス基準」のプロジェクトの目的 (UN/CEFACTプロジェクトより)

国連の持続可能な開発目標(SDG)は、持続可能な観光を個別の目標としてあげていません。ただし、SDGsのいくつかは観光産業に応用されています。

観光は、世界的にも地域的にも、地域社会、天然資源、気候、経済に深刻な悪影響を与える可能性があります。観光は旅行と強く結びついています。したがって、持続可能な旅行と輸送が考慮されます。宿泊サービス(宿泊)等も同様です。

世界的に見て、観光業界では、観光客を受け入れるために地域社会の要求を満たすだけでなく、観光を利用してそれらの地域社会にプラスの影響を与えるために変化が必要であるという認識があります。観光は脅威であると同時にチャンスでもあります。

① このプロジェクトの目的は、持続可能な観光を明確に定義し、持続可能な観光と見なすことができるもの
べきでないもののビジネス基準の指針を設定することです。

このプロジェクトで作成された基準の助けを借りて、持続可能な観光と非持続可能な観光を区別することが可能になるはずです。

② これらの基準は、観光商品やサービスの購入者が、購入したものが持続可能なものと見なすことができ
るという一定の確実性を持って選択を行うのにも役立ちます。

プロジェクト範囲

このプロジェクトでは、持続可能な観光商品のサブセットである体験プログラムに関するUN / CEFACTによって作成された作業を考このプロジェクトは、持続可能な観光に関する定義、基準、ガイドラインを作成することです。認証またはラベリングシステムは提供していません。

プロジェクトはまた、政府に将来の推奨事項の構成要素を提供し、政府の構成員における持続可能な観光を促進および促進慮に入れます。

プロジェクトの成果物

成果物1: 持続可能な観光のための定義、基準、ガイドラインを含むホワイトペーパー

終了基準

配信の終了基準。1: プロジェクトチームが作成したホワイトペーパーの局による承認

プロジェクトチームのメンバーシップと必要な機能の専門知識

- ・観光商品のサプライヤー側と消費者側の両方からの旅行と観光。
- ・国連の持続可能な開発目標

以上

1-2. 持続可能な観光を実現する背景を確認する(目標)

1. 貧困撲滅
2. 飢餓の撲滅と食糧の安全確保
3. 健康な生活、福祉の推進
4. 公平な教育機会
5. ジェンダー平等
6. 水、衛生へのアクセス
7. 持続可能で近代的なエネルギー
8. 雇用、経済成長
9. インフラの充実、産業化の促進、イノベーションの拡大
10. 国家間の不平等の是正
11. 持続可能な都市、居住地の促進
12. 持続可能な消費と生産
13. 気候変動に対する対策
14. 海洋、海洋資源の確保
15. 陸上生態系、森林資源の確保、砂漠化への対処
16. 平和で公正な社会の構築
17. SDG推進に向けた国際的連帯の活性化

ターゲット:169
(指標:244)

JTRECの取組

持続可能な観光実現
のビジネス基準

※ SDG指標とはターゲットの進捗度を測定するものとして
国連統計委員会が作成した

2. SDGsと持続的観光のビジネス基準作成のプロセス

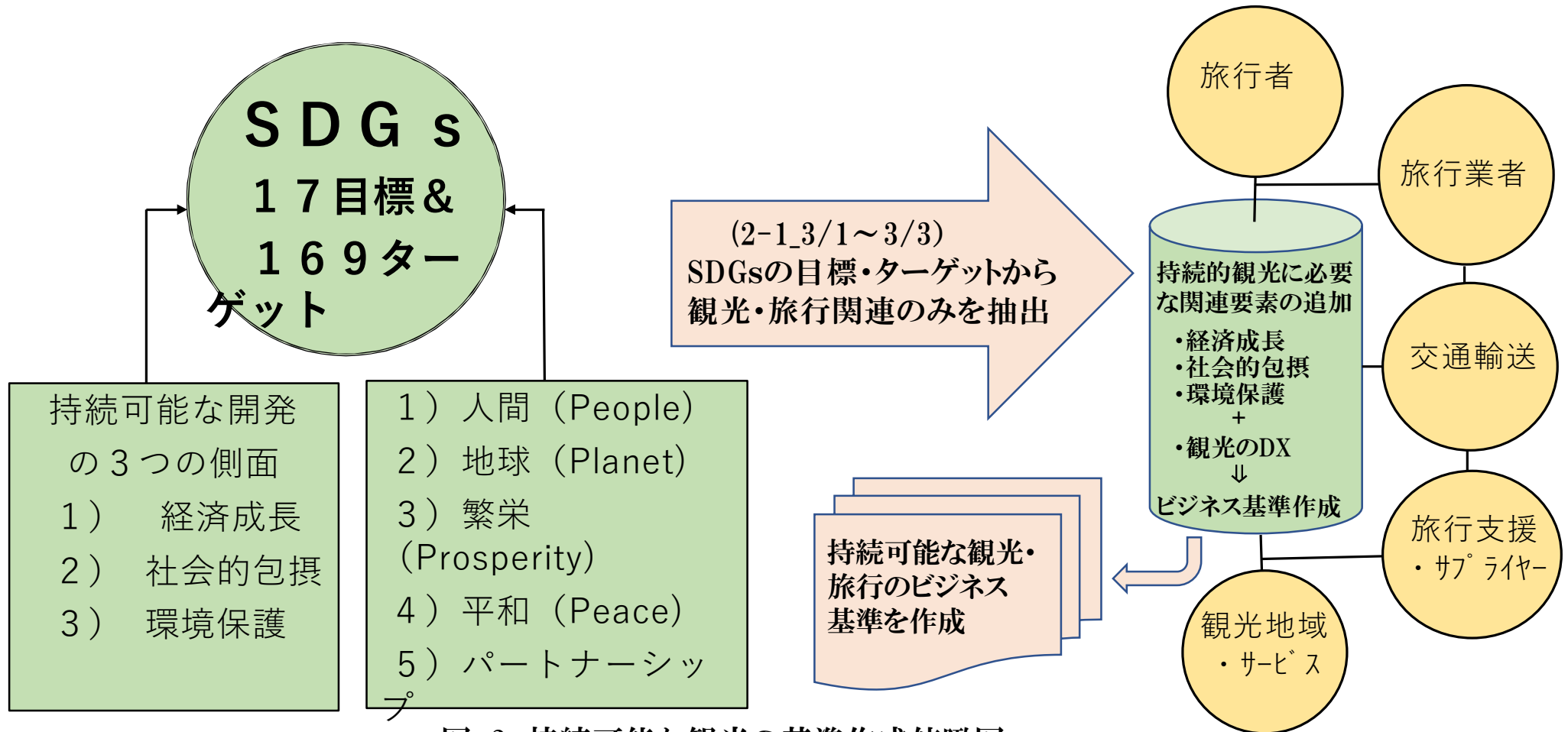


図-2 持続可能な観光の基準作成俯瞰図

(Partnership)

2-1.持続可能な観光関連のSDGs抽出表(1/3)

目標・ターゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標1	1.4	1.5	1.a	1.b								
目標2	2.3	2.4	2.a	2.b								
目標3	3.3	3.5	3.6	3.8	3.9	3.a	3.b	3.c				
目標4	4.1	4.3	4.4	4.6	4.7	4.b	4.c					
目標5	5.1	5.2	5.4	5.5	5.a	5.b	5.c					
目標6	6.1	6.2	6.3	6.4	6.5	6.6	6.a	6.b				

2-1.持続可能な観光関連のSDGs抽出表(2/3)

目標・ターゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標7	7.1	7.2	7.3	7.a	7.b							
目標8	8.2	8.3	8.4	8.5	8.6	8.7	8.8	8.9	8.10	8.a		
目標9	9.1	9.2	9.3	9.4	9.5	9.a	9.b	9.c				
目標10	10.1	10.2	10.6	10.b	10.c							
目標11	11.1	11.2	11.3	11.4	11.5	11.6	11.7	11.a	11.b	11.c		
目標12	12.1	12.2	12.3	12.4	12.5	12.8	12.a	12.b	12.c			

2-1. 持続可能な観光関連のSDGs抽出表(3/3)

目標・ ター ゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標 13	13.1	13.2	13.3	13.a	13.b							
目標 14	14.1	14.2	14.3	14.4.	14.5	14.6	14.7	14.a	14.b	14.c		
目標 15	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7	15.8	15.9	15.a	15.b	15.c
目標 16	16.1	16.2	16.5	16.7	16.10	16.a	16.b					
目標 17	17.8											

2-2. S T を可能にするSDGsの目標・ターゲット表(3/3)

目標・ ター ゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標 13	13.1	13.2	13.3	13.a	13.b							
目標 14	14.1	14.2	14.3	14.4.	14.5	14.6	14.7	14.a	14.b	14.c		
目標 15	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7	15.8	15.9	15.a	15.b	15.c
目標 16	16.1	16.2	16.3	16.4	16.5	16.7	16.8	16.10	16.a	16.b		
目標 17	17.3	17.4	17.5	17.6	17.7	17.8	17.9	17.16	17.17	17.18		

4. 持続可能な観光基準の定義に基づいて観光ビジネス基準及び指針を設定し、取引条件として活用し持続可能な観光に供する

これまでSDGsに基づいた持続可能な観光ビジネス基準について定義した。このアウトプットから各分野が取組むべき方策をビジネス基準指針に合致したSTの行動計画を夫々の状況に合わせて具体化する。

また、この行動計画は持続可能な観光実現方策として各観光分野の取引の条件の一つとしてビジネス基準設定に取組む。この実施計画は取組の共有化を行い販売提供者、観光商品消費者がSDGsへの取組状況が把握できる取引情報として利用でき夫々の取組状況が判別が可能になり国連の2030アジェンダに基づいた持続可能な観光実現のビジネス基準として提案する。

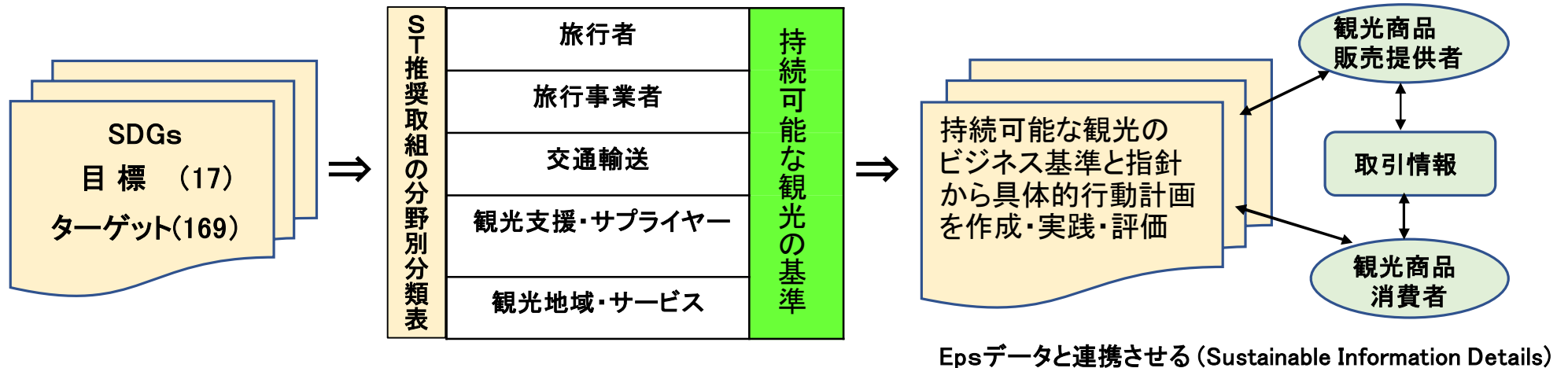
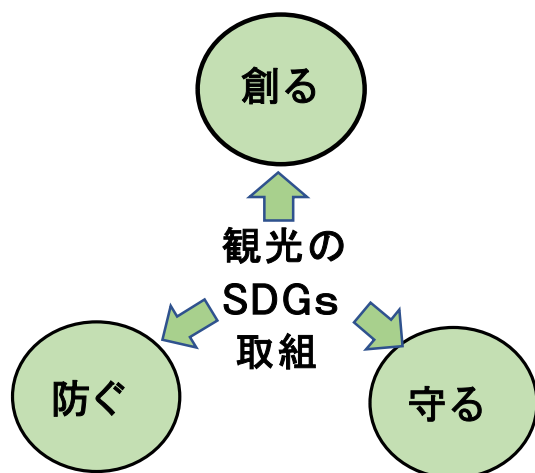


図-5 持続可能な観光ビジネス基準の流れと取引引きでの活用

4-2. 観光ビジネス基準実現のための「ビジネス基準の指針」について



区分	ビジネス基準の指針	ビジネス基準の指針補足
A	持続可能な社会を創る	QOL・経済、ジェンダー平等、健康・福祉・教育
B	地球温暖化を防ぐ	気候変動対策・適応、産業・技術革新、省エネ
C	野生生物を守る	生物の多様性・保全
D	自然環境を守る	自然遺産、森林地、漁場、耕作地、環境汚染(水質・土壌汚染等)
E	海洋汚染を防ぐ	海洋ゴミ、水質汚染
F1	観光資源を守る -1	文化財、博物館、文化施設・神社、仏閣、庭園
F2	観光資源を守る -2	自然公園、森林、公園、水資源、文化施設
F3	観光資源を守る -3	年中行事、民芸、郷土芸能
G	旅行者を守る	① その土地の環境に配慮した旅行消費の利用 ② 自然環境への負荷軽減を意識した行動 ③ 地元製品の消費や購入 ④ ソーシャル・ディスタンスの実践と混雑の回避 ⑤ 訪問地の文化や慣習、マナーなどの尊重、ガイドの利用等による訪問地に関する深い知識の習得 ⑥ 旅行先でのポジティブな経験の発言

(参考) UNWTO: 責任のある旅行者になるためのヒント(Tips for a Responsible Traveler)

A. 持続的観光のビジネス基準と達成度評価・改善・公表の流れ

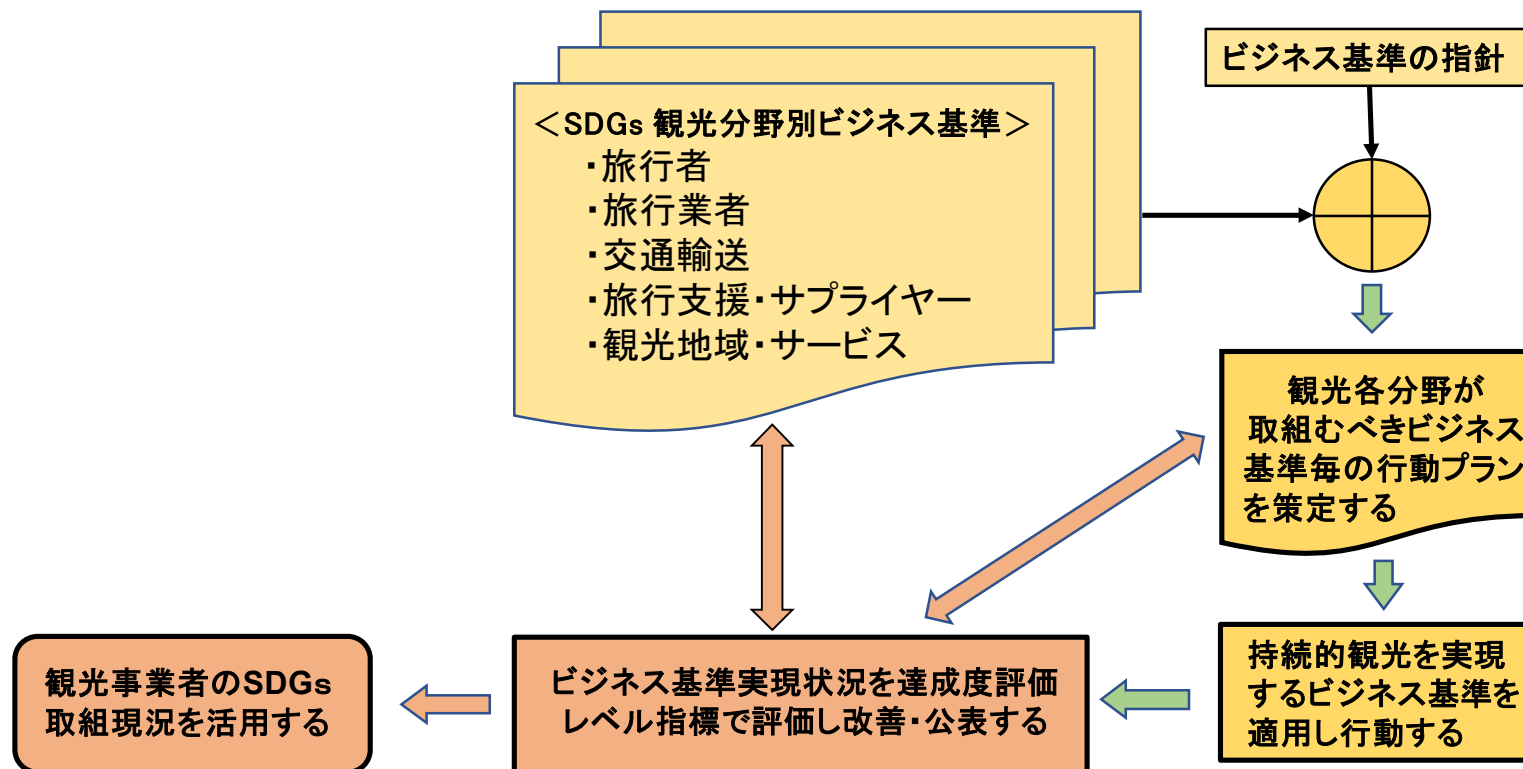


図-7 持続的観光のビジネス基準達成度評価の流れとSDGs達成度・改善、取組現況の公表

B. 持続的観光のビジネス基準達成度の評価手法について

1. ビジネス基準達成度の評価手法

案1: 商品・事業者・地域及び利用者が評価手法

案2: 観光SDGs取組行動リストの達成度を6段階レベルによる評価する手法

2. ビジネス基準の達成度評価の流れ

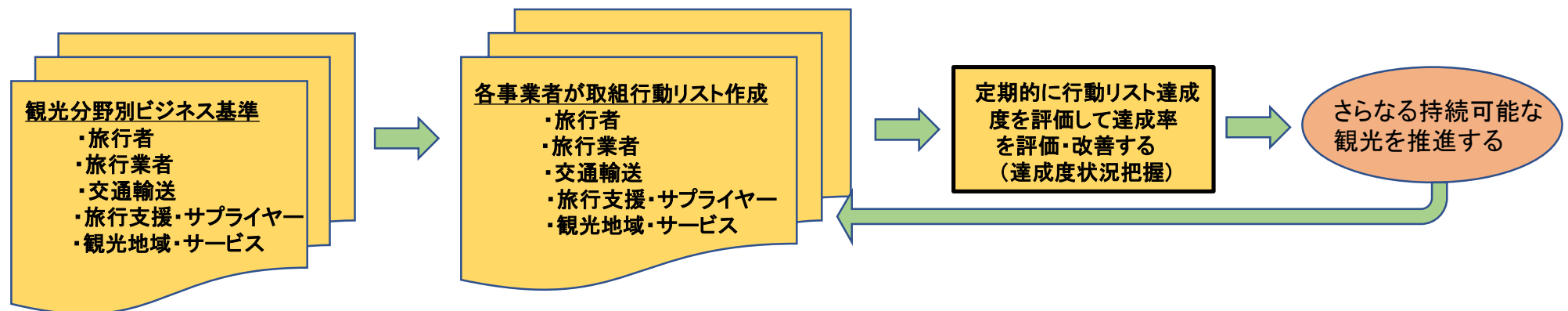


図-8 持続的観光のビジネス基準達成度評価の流れとSDGs達成度のモデル

商品・事業者・地域及び利用者の評価

(案1)

基本的な評価段階		商品提供事業者		商品の対象地域に対する取り組み	販売事業者の自らの評価		利用者の評価			
レベル分け	レベルの基本的な位置づけ	SDGsの実施度		商品提供事業者及び販売事業者の活動	販売商品(構成商品を含む)に対する		商品又は事業者に対する評価	販売事業者・提供事業者の活動に対する評価	利用者自らの活動評価	
		具体的な施策	対象ターゲット数		商品を通して(或いは公表された内容から)	対象ターゲット数			利用商品を通して	地域に対して
レベル1	事業主が関心を示し始めた	関心があるが動きがない	0	殆ど無関心	殆どない	0	商品からは殆ど理解できるものは無い	考慮した様子が殆ど見えない	関心は若干持っている	0
レベル2	従業員にも若干関心者が出てきた	社として少しずつ具体策が動き始めてきた	1~2	社として関心が少し出始めて動きが出てきた	動きが少しずつ出てきて、利用者にも順守事項の注意喚起の努力が始まった。しかしまた商品提供事業者・地域に対しての働きかけはまだできていない。	1~2	商品からは少しずつ取り組まれてきたことが感じられる	努力の様子が少し理解できる	利用者として気を付ける事項に配慮して行動し始めた	1~2
レベル3	全社で関心が出てきて、具体的な取り組みが少しずつ始まった	具体策が複数出てきた	3~5	地域と一体とした具体的な取り組みが動き出してきた	商品販売事業者として利用者を含めた活動が動き出し、また提供事業者・地域に対しても働きかけが少しずつ始まった	3~5	事業者の取り組みが理解でき、その効果も少し感じ取ることができる	具体策が動き始めてきたことを感じることができる。	遵守事項には十分に配慮して行動している	3~5
レベル4	計画の基に具体的な取り組みが動き出し、その効果も理解できる	複数の具体策が計画的に動き出してきた	6~10	地域との動きが計画的に始まった	商品販売事業者として又利用者・提供事業者・地域に対しても計画的な活動が始まった	6~10	事業者が計画的に取り組んでいること、その効果が理解できる	計画的に動き出してきて効果も感じられる	自らの行動基準を定めて行動すると共に事業者或いは地域への貢献に対して努力を行い始めている	6~10
レベル5	取り組みが本格的に動き出し、常に改善の方向に動いている	計画的に動くと共に、改善が常に図れるように動いている	10~	地域と一体化した動きと共にその更なる改善に向かっての努力が行われている	大きく動き出し、しかも改善の動きが常にあると共に、利用者・提供事業者・地域と一帯になって活動が動いている	10~	取り組みが本格的になっていて、効果が出ていると共に常に改善に対する努力が行われていることが理解できる	地域に対して大いに取り組んでいて、将来に向かって前向きに改善の努力が行われていることが理解できる	自らの行動基準を持ち、かつ関係する事業者や地域に貢献ができてきている	10~

4-7(3). 持続的観光のビジネス基準達成度評価(案-2)

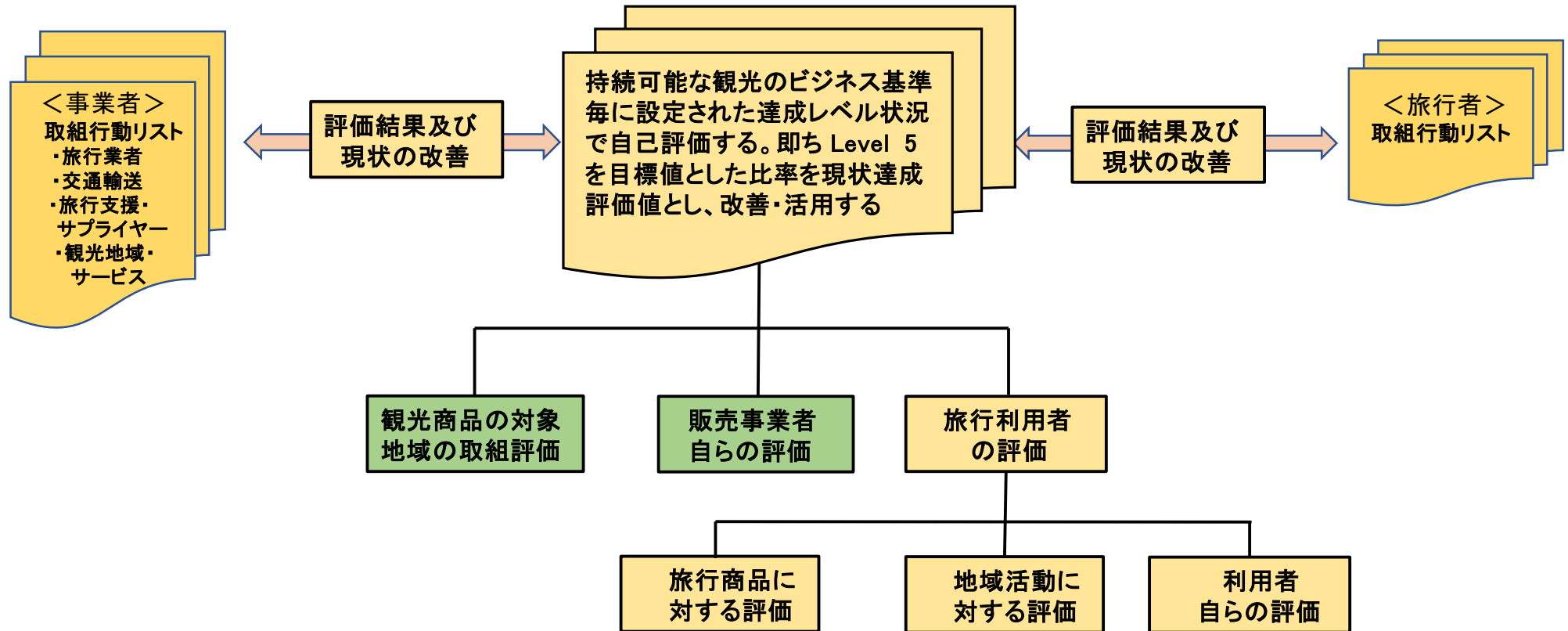


図-8 持続的観光のビジネス基準達成度レベル評価(案-2)

4-6 持続可能な観光ビジネス基準一覧表(案) 観光分野 (旅行者サンプルA) Sheet No.-1

SDGs	「旅行者」のSDGs開発のビジネス基準	ビジネス基準の指針
1.4	現在世界では数十億人の人が貧困のうちに生活し、尊厳のある生活が送れない現状にある。これを認識し旅行先では地域の人々と平等で良好な交流を行い。地域の文化財や遺跡等の資源等の訪問では地域のルールに従った持続可能な観光に向けて行動する。	A: 持続可能な社会を創る G: 旅行者を守る
3.5	旅行者は薬物の乱用、アルコール飲料など有害な摂取を含む行動に配慮して取り組む。	G: 旅行者を守る
3.6	世界の道路交通事故による死者数を半減させるため、旅行の移動手段はこの視点に立って取り組む必要がある。また可能な限り公共のMobility Management等による多様な公共交通施策による交通を活用して交通によるオーバーツーリズムと道路交通事故を避ける。	A: 持続可能な社会を創る
3.9	旅行先では如何なる場所地域での有害物質、ならびに大気、水質及び土壌汚染などによる死亡及び疾病の減少に旅行者として取り組む。	A: 持続可能な社会を創る D: 自然環境を守る G: 旅行者を守る
3.a	旅行先では原則タバコ規制を厳守し、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約を認識して実施する。	A: 持続可能な社会を創る

4-7(3). 持続的観光のビジネス基準達成度評価レベル一覧(1/4)

SDGs 目標・ターゲット ビジネス基準 の達成度評価レベル	「旅行者」の持続可能な観光ビジネス基準の評価結果						レベル毎の 評価数	改善対策
	1.4	3.5	3.6	3.9	3.a			
レベル0・未着手である	○						0	
レベル1・場当たりので不十分			○				1	
レベル2・基本が確立されている		○					2	
レベル3・標準化され実施している				○			3	
レベル4・良く管理されている					○		4	
レベル5・最適化されている							0	
達成率で評価：各ターゲット数に対する各評価レベル値を加算して 全てが目標レベル5を達成とした場合との割合を達成率とする。						評価 (1/4)	10/25 : 40%	

4-6 持続可能な観光ビジネス基準一覧表(案) 観光分野 (旅行者サンプルB) Sheet No.-2

SDGs	「旅行者」のSDGs開発のビジネス基準	ビジネス基準の指針
4.7	旅行先での文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献を理解し、旅行者は文化多様性、文化の持続可能な開発のための地域の全ての学習者が必要な知識及び技能を習得できるよう理解を深める。	A: 持続可能な社会を創る F2,F3: 観光資源を守る G: 旅行者がが守る
5.1	旅行先ではジェンダー平等を念頭にあらゆる形態の差別を撤廃するよう行動する。	A: 持続可能な社会を創る
6.2	野外での排泄はしない。適切な場所にある安心・安全で衛生的な公衆トイレを利用する。	D: 自然環境を守る G: 旅行者がが守る
6.4	旅行先では地域の全ての人々が水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を考慮して水不足に悩む地域の人々に配慮する。	F2: 観光資源を守る G: 旅行者がが守る
7.1	安価かつ信頼できるクリーンエネルギーサービスへの普遍的アクセスを支援し利用する。	B: 地球温暖化を防ぐ G: 旅行者がが守る

4-7(3). 持続的観光のビジネス基準達成度評価レベル一覧(2/4)

SDGs目標・ ターゲット ビジネス基準 の達成度評価レベル	「旅行者」の持続可能な観光ビジネス基準の評価結果						
	4.7	5.1	6.2	6.4	7.1	レベル毎の 評価数	改善対策
レベル0・未着手である							
レベル1・場当たりので不十分							
レベル2・基本が確立されている			○			2	
レベル3・標準化され実施している	○	○				6	
レベル4・良く管理されている				○		4	
レベル5・最適化されている					○	5	
					評価 (2/4)	17/25 : 68%	

4-6 持続可能な観光ビジネス基準一覧表(案) 観光分野 (旅行者サンプルC) Sheet No.-3

SDGs	「旅行者」のSDGs開発のビジネス基準	ビジネス基準の指針
11.4	旅行先では地域の文化遺産及び自然遺産の見学等は地域の保護・保全・管理を理解して行動する。	G:旅行者が守る
12.8	旅行先のあらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。	G:旅行者が守る
14.1	海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止する。	E:海洋汚染を防ぐ
14.3	旅行先のあらゆるレベルでの科学的協力の促進などを通じて、海洋酸性化の影響を最小限化の取組に協力する。	E:海洋汚染を防ぐ
16.1	あらゆる場所において、すべての形態の暴力を排除する。	A:持続可能な社会を創る

4-7(3). 持続的観光のビジネス基準達成度評価レベル一覧(3/4)

SDGs目標・ ターゲット ビジネス基準 の達成度評価レベル	「旅行者」の持続可能な観光ビジネス基準の評価結果						レベル毎の 評価数	改善対策
	11.4	12.8	14.1	14.3	16.1			
レベル0・未着手である								
レベル1・場当たりので不十分								
レベル2・基本が確立されている				○		2		
レベル3・標準化され実施している		○				3		
レベル4・良く管理されている	○		○			6		
レベル5・最適化されている					○	5		
				評価 (3/4)		16/25 :	64%	

4-6 持続可能な観光ビジネス基準一覧表(案) 観光分野 (旅行者 サンプルD) Sheet No.-4

SDGs	「旅行者」のSDGs開発のビジネス基準	ビジネス基準の指針
16.2	子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問の撲滅に協力する。	A: 持続可能な社会を創る

4-7(3). 持続的観光のビジネス基準達成度評価レベル一覧(4/4)



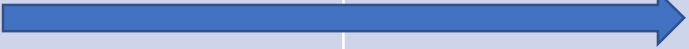


SDGs目標・ ターゲット ビジネス基準 の達成度評価レベル	「旅行者」の持続可能な観光ビジネス基準の評価結果						レベル毎の 評価数	改善対策
	16.2							
レベル0・未着手である								
レベル1・場当たりので不十分								
レベル2・基本が確立されている								
レベル3・標準化され実施している								
レベル4・良く管理されている								
レベル5・最適化されている	○						5	
					「旅行者」1.4～ 16.2のS T達成度		5/5:100% Avg: 68%	

4-7(3). 持続的観光のビジネス基準達成度評価レベル一覧

- ・12/14 プロジェクト検討会後に作成予定の観光事業者
 - 旅行業者
 - 交通輸送
 - 旅行支援・サプライヤー
 - 観光地・サービス

5. STプロジェクトスケジュール(案)

(2021.10.2)

作業項目	7月	8月	9月	10月
1. (A) STで取組目標 ・ターゲットの行動リスト 作成検討(5月完了)				
2.STで取組むべき 持続化行動リスト作成	 6/26→7/15			
3. (GOAL) 観光・旅行 分野別ST推奨取組 作成トビジネス基準 一覧の作成 ・レビュー ・分野別ST推奨取組 ・STビジネス基準作成 ・STビジネス基準の 検証・レビュー・修正	分野別ST推奨取組作成 	STビジネス基準検討・ 評価・一覧作成 	取組手法をPJ検討会 で評価 9/28	STビジネス基準一覧作成 ~10/8 検証・レビュー10/12~  STビジネス基準修正 

6. 「持続可能な観光のビジネス基準」の今後の取り組みについて

UN/CEFACTのプロジェクト「持続可能な観光のためのビジネス基準」の進捗・成果はプロジェクトリーダーの台湾のTAI氏が昨年ホワイトペーパー(案)を提出している。この方向からJTREC側も2021年3月から検討をSDGSのに絞って進めている。

しかし2020年1月頃からCOVID-19の世界的パンデミックによりプロジェクト作業は中断しており、この間JTREC案として検討を進め、再開後直ちに調整をとって行きたい考えている。JTREC案については8月中に成果の取りまとめを行い9月中旬を目処に成果物をまとめる方向である。

その後の進め方

- (1) 9/28 STプロジェクト検討会でSTビジネス基準のまとめ方の可否・課題・問題点検討
- (2) 10/12 STプロジェクトビジネス基準一覧表の検証・レビューの実施 (第1版作成)
- (3) 10/12～ 検証・レビュー後の修正・評価、検討を行ってSTビジネス基準 (第1版訂正版)
(また、UN CEFACT FORUM T+T DOMAIN(10/11, 10/14)での検討状況を取り入れる)
- (4) 10/26 STプロジェクト検討会で第1版訂正後の検証・レビュー実施 (第2版作成)
- (5) 10/26 以降で第2版承認後、台湾のTAI氏に日本案の考え方を説明し協議する予定? (T+Tの動向待ち)
- (6) 今回の観光のビジネス基準の提案に対する観光分野の事業者との意見交換・連携して
SDGS本来の地球規模の課題解決の一助として活用し観光産業が持続的かつ強靱化への取組を願っている。

以上

END